☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂

江別ユネスコ協会事務局だより　2015 年 2 月 9 日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内（担当石津☎381-1069）

学習会「世界遺産の現状とポルトガルの文化財」を開きます

2015 年 3 月 7 日（土）13 時 30 分より、野幌公民館の団体活動室において、当協会と「江別市郷土資料館友の会」の共催で学習会を開催します。講師は当協会の田村邦雄会長がつとめます。会員の皆様はもとより、ご家族・ご友人などお誘い合わせ、多数の聴講をお願いします。

ユネスコの第 38 回世界遺産委員会は、2014 年 6 月 15 日から 25 日まで、アラビア湾岸のカタール国ドーハで開かれ、会場は日本の建築家・磯崎新さんが設計した「カタール国立コンベンション・センター」が使われました。ドーハはカタール航空の本拠地で、新空港・ハマド国際空港が 5 月 27 日にオープンしたばかりです。発展途上の、勢いのある国づくりが進行していて、世界じゅうから集まった加盟国の代表団も、砂漠の上に広がる高層ビル群には、思わず眼を見張ったといいます。

この会議には、各国がプライドをかけて推薦した 41 件（拡張申請を含む。）の遺産のうち 22 件に対し、事前評価を委託されているイコモス（国際記念物遺跡会議）及び IUCN（国際自然保護連合）から、今回の登録を見合わせるよう世界遺産委員会へ勧告が出ている問題を、どう処理するかという課題が出されています。その結果によっては、世界遺産の総数が 1000 件を超える可能性があり、この点にも注目が集まっていました。

それに加えて、既に登録されているものの武力衝突や開発行為、インフラ整備などに起因して「資産の保全状況審査」の対象になっている遺産が 141 件（うち 44 件は危機遺産）の多数に達している問題も審議しなければならず、ほかにも多様な難題が山積しているため、それぞれ当事国の代表団は一様に神経質になっていたようです。

今回の学習会では、開設 42 年を経過して曲がり角にきた世界遺産プログラムについて、その動向を大まかに理解し、各国の思わくなどを考えてみたいと思います。

和歌山で開かれる「第 71 回全国大会」にご参加ください

すでにご案内のとおり「第 71 回日本ユネスコ運動全国大会 in 和歌山」の開催期日は、2015 年 6 月 6 日（土）～7 日（日）です。会場は和歌山市民会館大ホールで、大会テーマは「持続可能な平和のため！～‘会話’を広げるユネスコ～」となっています。

参加申込みについては、日本ユネスコ協会連盟の機関紙「ユネスコ」1 月 1 日号に添付された案内資料（参加申込書など）をご覧の上、各自で申し込んでください。締切は 2015 年 4 月 13 日（月）です。熊野古道見学や高野山参詣などバラエティに富むエキスカーションも用意されています。多数のご参加をお願いします。大会参加申込みの担当旅行社は（株）トップツアー和歌山支店です。詳細については全国大会受付デスク（☎073－425－3211）へお問い合わせください。

「国際センター冬の集い 2015」～にぎやかに開催されました

当協会が加盟している江別市国際交流推進協議会が毎年ひらいている「冬の集い：Winter Fest」が、江別国際センターで 2 月 8 日（日）午後に開催され、川口幸太郎・元栗山町長の講演や J・ハルボーセンさんの子供英語教室、宮城社箏・道の会の琴合奏、NPH マスクワイアーのゴスペル・コンサート、韓国料理・試食会など多彩なプログラムが、賑やかに展開されました。今回は海外からの観光客の参加もあったようで、中東やインドネシアの女性が使うようなヴェール（ヒジャブ）をかぶったグループも見られ、一段と国際色豊かな「集い」になったような印象をうけました。